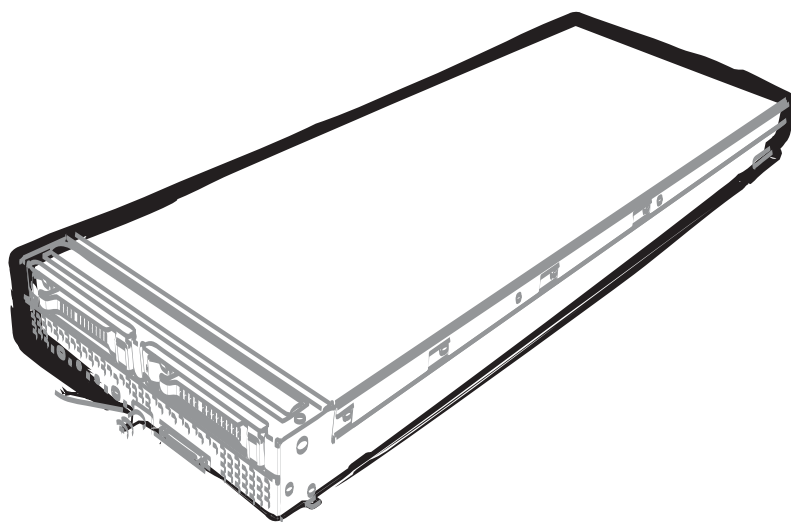


**iStorage**



NEC iStorage NSシリーズ  
NF8400-001

# **iStorage NS500Ba**

## **ユーザーズガイド**

## 商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnic、CLUSTERPRO、EXPRESSSCOPEは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentium、Xeonは米国Intel Corporationの登録商標です。ROM-DOSおよびDatalightはDatalight, Inc.の登録商標または商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。LSIおよびLSIロゴ・デザインはLSI社の商標または登録商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。DLTとDLTtapeは米国Quantum Corporationの商標です。PCI EXPRESSはPeripheral Component Interconnect Special Interest Groupの商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003 x64 EditionsはWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating system および Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略です。

Windows Server 2003はWindows Server® 2003 R2 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2 Enterprise Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。

Windows 2000はWindows® 2000 Server operating systemおよびWindows® 2000 Advanced Server operating system、Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。

Windows NTはWindows NT® Server network operating system version 4.0 およびWindows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

Windows VistaはWindows Vista® Business operating systemの略称です。

Windows XP x64 Editionは、Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。

Windows XPIはWindows® XP Professional operating systemおよびWindows® XP Home Edition operating systemの略称です。

Windows MeはWindows® Millennium Edition operating systemの略称です。

Windows 98はWindows® 98 operating systemの略称です。

Windows PEはWindows® Preinstallation Environmentの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## 使用上のご注意（必ずお読みください）

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。また、本文中の名称については本書の「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

### 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



**警告**







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



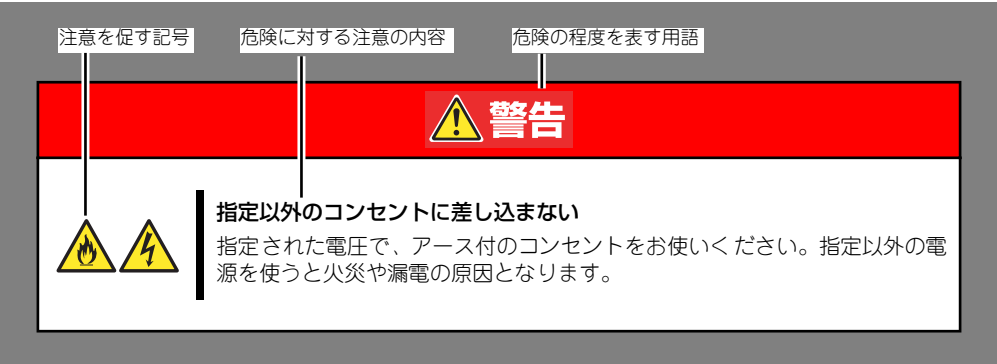
**注意**

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (電源プラグを抜く)

(ユーザーズガイドでの表示例)



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

### 警告



#### 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。



#### 自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



#### リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

CPU ブレードにはリチウムバッテリーが取り付けられています。（オプションデバイスの中にはニッカドバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります）。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



#### 煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにすべてのCPU ブレードの電源をOFFにした後、ブレード収納ユニットの電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



#### 針金や金属片を差し込まない

通気孔や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



#### 指定以外の場所で使用しない

CPU ブレードなどのデバイスは、専用の「ブレード収納ユニット」に搭載して使用します。ブレード収納ユニット以外の筐体（ケース）に取り付けて使用しないでください。火災や感電の原因となります。



**腐食性ガスの発生する環境で使用しない**

腐食性ガス（塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分（硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店や保守サービス会社にご相談ください。



**CPU ブレードを取り付けたまま取り扱わない**

CPU ブレードへのオプションの取り付け / 取り外しは、CPU ブレードの電源を OFF にして、CPU ブレードをブレード収納ユニットから抜いて行ってください。ブレード収納ユニットに接続したまま CPU ブレードの部品に触ると感電するおそれがあります。



**複数の CPU ブレードを同時に取り付け / 取り外ししない**

CPU ブレードの取り付け / 取り外しは、1 枚単位で行ってください。複数の CPU ブレードを同時に取り付け / 取り外しをしたり、別のスロットのカバーを取り外したまま取り付け / 取り外しをすると感電するおそれがあります。

## ⚠ 注意



### 海外で使えない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用するとう火災や感電の原因となります。



### 装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



### 中途半端に取り付けない

インタフェースケーブルや CPU ブレード、ハードディスクドライブ、オプションボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



### 指定以外のインタフェースケーブルを使えない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



### 高温注意

CPU ブレード上の部品やブレード収納ユニット内の部品が高温になっていることがあります。十分に冷めたことを確認してから取り付け / 取り外しを行ってください。また、電源ファンから排出される排気は高温になっています。排気口付近に顔や手を近づけないようにしてください。



### 雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



### ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入ると火災や感電の原因となります。

## 取り扱い上のご注意（装置を正しくお使いいただくために）

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。



### 保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

### ● CPUブレード

- NP8400-001のCPUブレードは、ブレード収納ユニット(SIGMABLADE)に取り付けてください。
- 取り付け/取り外しは、1枚単位で行ってください。
- 取り付け/取り外しの際は、板金で覆われている部分を持ってください。また、運搬の際は、購入時に入っていた袋に入れ、包装箱に入れてから持ち運んでください。
- CPUブレードは大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからCPUブレードを取り扱ってください。また、CPUブレードの端子部分や部品を素手で触ったり、CPUブレードを直接机の上に置いたりしないでください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
  - ☐ 装置の輸送後
  - ☐ 装置の保管後
  - ☐ 装置の動作を保証する環境条件（温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%）から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ（NTPサーバ）などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。

- CPUブレードの電源OFFは、CPUブレードを正しくシャットダウンしてから行ってください。
- CPUブレードの電源を一度OFFにした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。



- CPUブレードは、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- CPUブレードの電源ON操作は、POWERスイッチやリモートパワーオンのいずれの場合も、CPUブレードへの電源供給開始後(CPUブレードのPOWERランプがアンバー色に点灯後)、30秒以上経過してから行ってください。30秒以内に電源ON操作を行うと、電源がONにならない場合があります。この場合、CPUブレードへの電源供給を確認後、POWERスイッチにて電源ONを行ってください。
- CPUブレードは、CPUブレードの電源をOFFにしてから取り外してください。
- オプションは購入したブレードサーバのオプション対象品であることを確認してください。たとえばCPUブレードに取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、CPUブレードが故障することがあります。
- POST中は以下の行為をしないようにしてください。  
(EMボードおよび外部アプリケーションからの同等機能も含む)
  - ☐ CPUブレードのPOWERスイッチを押す。
  - ☐ CPUブレードのRESETスイッチを押す。
  - ☐ CPUブレードをブレード収納ユニットから取り外す。
  - ☐ ブレード収納ユニットの電源ユニットに接続している電源コードを抜く。

## ● ハードディスクドライブ

- ハードディスクドライブは大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからハードディスクドライブを取り扱ってください。また、ハードディスクドライブの端子部分や部品を素手で触ったり、ハードディスクドライブを直接机の上に置いたりしないでください。
- ハードディスクドライブに振動や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ハードディスクドライブは購入したブレードサーバのオプション対象品を使用してください。
- ハードディスクドライブを取り付けるスロットを確認してください。各CPUブレードに接続されるハードディスクドライブのスロットはあらかじめ決められています。
- ハードディスクドライブは、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。

## ● オプションのメモリやプロセッサ、ブレード用メザニンカード、ボードおよびその他電子部品

- これらの製品は大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてから製品を取り扱ってください。また、製品の端子部分や部品を素手で触ったり、製品を直接机の上に置いたりしないでください。
- オプションは購入したブレードサーバのオプション対象品であることを確認してください。たとえば装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- 内蔵型のオプション機器は、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。

- － オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- － 本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

## 健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の一部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

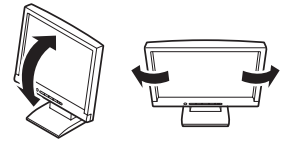
### よい作業姿勢で

コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体の中のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



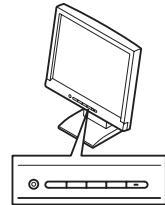
### ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用の前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



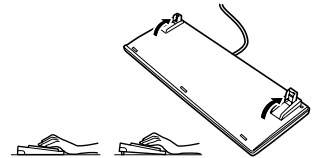
### 画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



### キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



### 機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

### 疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



# はじめに

このたびは、NECのiStorage NSシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、最新のハードウェアテクノロジーと洗練されたネットワークテクノロジーの融合を実現した高性能ネットワーク・アタッチド・ストレージ（NAS）サーバです。

インターネットビジネスやワークグループなどで、日々増え続ける膨大なデータ。NECのiStorage NSシリーズは、これらを効率良く一元管理する、フレキシブルで拡張性の高いNAS（Network Attached Storage）ソリューションを提供します。ファイルサービスを専門とした設計により、高コストパフォーマンスを実現。マルチプロトコルのサポートで、WindowsやUNIXなど、異なるOSが混在する環境下でのデータ統合管理が可能です。さらに、ワークグループやハイエンドモデルまで目的に合わせて選択できる製品をラインアップしました。急速に拡大し多様化する情報環境に、NECがお届けする先進のNASソリューションをご利用ください。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




# 本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

## 本書の購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザズガイドなどのドキュメントの一部は、以下のホームページからダウンロードすることができます。

<http://support.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>

# 本書の構成について

本書は7つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には付録・索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

## 第1章 本製品について

本製品の各部の名称やその機能、および特長や添付のソフトウェアについて説明します。

## 第2章 セットアップ

本体の設置から接続、専用ツールによるセットアップなど装置を使用できるまでの作業と注意事項を説明します。

## 第3章 iStorage NSシリーズアプリケーション

本製品にバンドルされているアプリケーションについて説明します。

## 第4章 システムの拡張

本装置に別売のオプションを増設するときの手順をステップ・バイ・ステップに説明しています。

## 第5章 マザーボードのコンフィグレーション

本装置のマザーボードに搭載されている専用のユーティリティを使ったBIOS設定の変更方法および各種メニューとパラメータの詳細について説明しています。

## 第6章 RAIDシステムのコンフィグレーション

本装置内蔵のハードディスクドライブをRAIDシステムとして運用するための方法について説明します。

## 第7章 故障かな？と思ったときは

「故障かな？」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。また、この章では故障を未然に防ぐための保守のしかたやiStorage NSシリーズをご利用のお客様に提供しているサービスについても紹介しています。

# 付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。スタートアップガイドの「添付品を確認する」を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



## 付属品について

- 添付品の「ソフトウェアパッケージ」の構成品については、パッケージの中にある構成品表を参照してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはDVD-ROM、CD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

# 第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

- **本体について**

第三者へ譲渡（または売却）する場合には、添付品および説明書一式（本書も含む）を一緒にお渡しください。



## ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

オペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」などの操作や「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- **添付のソフトウェアについて**

添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること



# 消耗品・装置の廃棄について

- 本体およびハードディスクドライブやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に破棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄（および交換）についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア（CD-R/CD-RWなど）に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（冷却ファン、本体内蔵のバッテリーなど）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

# 装置の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。

リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。



# 目次

使用上のご注意（必ずお読みください）.....	iii
安全にかかわる表示について.....	iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容.....	iv
安全上のご注意.....	v
取り扱い上のご注意（装置を正しくお使いいただくために）.....	viii
健康を損なわないためのアドバイス.....	xi
はじめに.....	xii
本書について.....	xiii
本文中の記号について.....	xiii
本書の購入について.....	xiii
本書の構成について.....	xiv
付属品の確認.....	xv
第三者への譲渡について.....	xvi
消耗品・装置の廃棄について.....	xvii
装置の輸送について.....	xvii
目次.....	xix

## 1 本製品について

本製品の紹介.....	2
主な特長と機能.....	2
添付のディスクについて.....	4
管理アプリケーションの用途.....	6
ESMPRO.....	6
iStorage NS連携モジュール.....	7
Universal RAID Utility.....	7
EXPRESSBUILDER.....	7
オートランで起動するメニュー.....	7
エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS).....	8
EXPRESSSCOPEエンジン2.....	8
各部の名称と機能.....	9
CPUブレード.....	9
CPUブレード本体.....	9
CPUブレードアクセス面.....	10
装置外観.....	11
ハードディスクドライブ.....	12
ランプ表示.....	13
CPUブレード.....	13
POWERランプ.....	13
STATUSランプ.....	14
LAN(1・2) Link/Accessランプ.....	19
IDランプ.....	19
ハードディスクドライブのランプ.....	20
基本的な操作.....	21
電源のON.....	21
CPUブレードからの電源ON.....	22

ネットワーク・シリアルポートからの電源ON.....	22
リモート制御からの電源ON.....	22
電源ON後の動作.....	22
POSTのチェック.....	23
POSTの流れ.....	23
POSTのエラーメッセージ.....	24
電源のOFF.....	25
デバイスの確認.....	26
本装置への接続.....	27

## 2 セットアップ

ハードウェアのセットアップ.....	30
CPUブレードの取り付けの前に.....	30
MACアドレスの確認.....	30
メモリの取り付け.....	31
CPUブレードの取り付け.....	31
ハードディスクドライブの取り付け.....	31
設置.....	32
別売のK410-150(00)SUVケーブルを使用してのUSB接続について..	34
SSU（サーバスイッチユニット）経由 106キーボード使用設定 .....	35
ネットワークへの接続について.....	35
システムのセットアップ.....	36
グラフィックスアクセラレータドライバのインストール.....	36
セットアップの準備.....	36
電源のON.....	37
初期設定.....	38
[日時の設定].....	39
[IPアドレスの設定].....	39
[コンピュータ名・ドメインの設定].....	40
[パスワードの設定].....	40
iSCSI簡単設定ツール.....	41
その他の設定について.....	42
BIOS設定の注意点.....	43
オプションソフトウェアの追加.....	44

## 3 iStorage NSシリーズアプリケーション

オートランで起動するメニュー.....	46
ESMPRO/ServerAgent, ServerManager.....	47
概要.....	47
サーバ障害の検出.....	48
サーバ障害の予防.....	49
ESMPRO/ServerAgent.....	50
セットアップを始める前に.....	50
TCP/IPの設定.....	50
SNMPサービスの設定.....	50
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ.....	52
補足説明.....	52
ESMPRO/ServerAgent Extension.....	53
ExpressUpdate Agent.....	53
ESMPRO/ServerManager.....	53

Universal RAID Utility .....	54
ESMPRO/ServerManagerによる管理 .....	54
チームング設定 .....	55
LAN ドライバとPROSet のインストール .....	55
LAN ドライバのセットアップ .....	55
WOLの設定 .....	55
チームのセットアップ .....	56
チームのセットアップ手順 .....	56
チームの削除手順 .....	58
LANボード(N8403-017/020/021/022/035)を追加接続する場合 .....	58
エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS) .....	59
セットアップに必要な契約 .....	59
装置情報収集ユーティリティ .....	60
インストール .....	60
使用方法 .....	60
アンインストール .....	60
EXPRESSBUILDER .....	61
各メニューの起動について .....	61
保守ツール .....	63
保守ツールの起動方法 .....	63
保守ツールの機能 .....	64
コンソールレス .....	66
起動方法 .....	66
システム診断 .....	67
システム診断の内容 .....	67
システム診断の起動と終了 .....	67

## 4 システムの拡張

安全上の注意 .....	72
静電気対策について .....	73
取り付け/取り外しの準備 .....	74
取り付け/取り外し後の確認 .....	75
プロセッサ (CPU) .....	76
取り付け .....	77
取り外し .....	81
DIMM .....	82
増設順序と注意事項 .....	83
取り付け .....	83
取り外し .....	86
ブレード用メザニンカード .....	87
注意事項 .....	87
取り付け .....	88
取り外し .....	91
ハードディスクドライブ接続用インターフェースカード .....	92
注意事項 .....	92
取り付け・取り外し .....	93
ハードディスクドライブ .....	96
取り付け・取り外し .....	97
交換 .....	99

## 5 マザーボードのコンフィグレーション

システムBIOSのセットアップ (SETUP) .....	104
概要 .....	104
起動 .....	105
キーと画面の説明 .....	106
設定例 .....	108
パラメータと説明 .....	111
Main .....	112
Processor Settingsサブメニュー .....	113
Advanced .....	115
Memory Configurationサブメニュー .....	116
PCI Configurationサブメニュー .....	118
Peripheral Configurationサブメニュー .....	122
Advanced Chipset Controlサブメニュー .....	124
Security .....	125
Security Chip Configurationサブメニュー .....	127
Server .....	129
System Managementサブメニュー .....	131
Console Redirectionサブメニュー .....	132
BMC LAN Configurationサブメニュー .....	133
Event Log Configurationサブメニュー .....	135
Boot .....	137
Exit .....	138
リセットと強制電源OFF .....	140
リセット .....	140
ソフトウェアリセット .....	140
ハードウェアリセット .....	140
リモート制御リセット .....	140
強制電源OFF .....	141
割り込みライン .....	142

## 6 RAIDシステムのコンフィグレーション

RAIDシステムコンフィグレーション .....	144
RAIDについて .....	144
RAIDの概要 .....	144
RAID(Redundant Array of Inexpensive Disks)とは .....	144
RAIDレベルについて .....	144
ディスクグループ(Disk Group) .....	145
バーチャルディスク(Virtual Disk) .....	145
ホットスワップ .....	146
RAIDレベル .....	147
RAIDレベルの特徴 .....	147
「RAID0」について .....	147
「RAID1」について .....	148
N8403-027 SATAインターフェースカードのコンフィグレーション .....	149
ハードディスクドライブの取り付け .....	149
RAIDの有効化 .....	149
RAIDユーティリティの起動と終了 .....	149
ユーティリティの起動 .....	150
ユーティリティの終了 .....	151
メニューツリー .....	152
設定一覧 .....	152

Configuration Utility操作手順.....	154
Configurationの新規作成/追加作成.....	154
マニュアルリビルド .....	158
整合性チェック .....	159
その他 .....	160
LSI Software RAID Configuration UtilityとUniversal RAID Utility ..	161
用語の差分について .....	161
管理番号の差分について .....	161
バックグラウンドタスクの優先度(Rate)の設定値の差分について .....	162
N8403-026 RAIDコントローラのコンフィグレーション .....	163
リビルド .....	163
マニュアルリビルド(手動リビルド) .....	163
オートリビルド(自動リビルド).....	163
パトロールリード .....	164
整合性チェック .....	164
リコンストラクション .....	165
Removed physical drive .....	165
Migration only.....	165
Migration with addition.....	165
WebBIOSを使用する前に.....	167
サポート機能 .....	167
バーチャルドライブ作成時の注意事項 .....	167
WebBIOSの起動とメニュー .....	169
WebBIOSの起動 .....	169
Main Menu.....	170
Controller Properties .....	173
Scan Devices.....	177
Virtual Drives.....	178
Drives .....	179
Physical Drive Properties.....	180
Configuration Wizard.....	182
Controller Selection.....	182
Physical View / Logical View.....	182
Events .....	182
Exit .....	183
バーチャルディスクの構築 .....	184
Configuration Wizard.....	184
VD Definition設定項目 .....	192
各種機能操作方法 .....	195
整合性チェック (Check Consistency) 機能 .....	195
マニュアルリビルド機能 .....	197
リコンストラクション機能 .....	200
Locate機能.....	202
Slow Initialize機能 .....	203
WebBIOSとUniversal RAID Utility.....	204
用語 .....	204
番号とID .....	204

## 7 故障かな？と思ったときは

日常の保守.....	208
アップデートの確認・適用.....	208
アラートの確認 .....	209
ステータスランプの確認.....	209
バックアップ.....	210
クリーニング.....	210

本体のクリーニング .....	210
キーボード/マウスのクリーニング .....	211
CD-ROM/DVD-ROMのクリーニング .....	212
障害時の対処 .....	213
障害箇所の切り分け .....	213
エラーメッセージ .....	214
POST中のエラーメッセージ .....	214
画面に表示されるエラーメッセージ .....	215
ランプによるエラーメッセージ .....	222
Windowsのエラーメッセージ .....	222
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ .....	223
トラブルシューティング .....	224
ブレードサーバについて .....	224
EXPRESSBUILDERについて .....	235
オートランで起動するメニューについて .....	235
システム診断・保守ツールについて .....	236
その他のアプリケーションについて .....	236
オペレーティングシステム（OS）の再インストール .....	237
再インストールのための準備 .....	237
iStorage NS500BaバックアップDVD-ROMを用いたインストール .....	238
iStorage NSの起動 .....	238
ハードウェアの接続 .....	238
確認と設定 .....	238
本装置へのログオン .....	238
ディスクの管理での確認   ードライブレターの変更ー .....	239
ユーザー領域について .....	239
移動と保管 .....	240
ユーザーサポート .....	242
保証について .....	242
修理に出される前に .....	242
修理に出される時は .....	243
補修用部品について .....	243
保守サービスについて .....	243
情報サービスについて .....	244
付録A 仕 様 .....	245
付録B 保守サービス会社網一覧 .....	246
索 引 .....	251



---

**オンラインドキュメントについて**

---

添付のEXPRESSBUILDERには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- 管理者ガイド
- ESMPRO/ServerAgent (Windows版) FAQガイド (よくある質問について)
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- ESMPRO/ServerAgent Extensionインストールマニュアル
- ExpressUpdate Agentインストールマニュアル
- エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)インストールガイド
- エクスプレス通報サービス(Linux版)セットアップガイド
- EXPRESSSCOPEエンジン2ユーザズガイド
- Universal RAID Utility Ver2.1ユーザズガイド
- 19インチラックユーザズガイド
- ユーザズガイド (本書)

